

嵐山町は必要数に達しました。署名のご協力ありがとうございました

原発埼玉県民投票条例案制定の署名集めのご報告

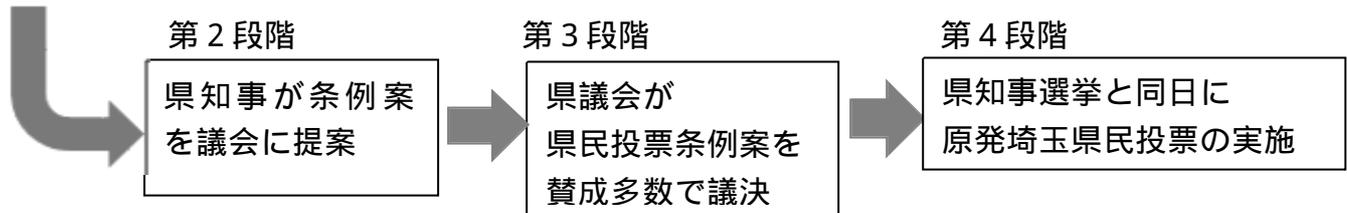
★嵐山町は 511 筆の署名が集まりました。(嵐山町の必要数は 306)

★県民全体では 6 万 2760 筆で、県知事に原発県民投票議案を提出できる必要な署名数 11 万 8 千筆に届きませんでした。

★原発埼玉県民投票条例案の直接請求は、

第 1 段階

「原発について県民の賛否を問う住民投票条例案の議案を提出してください」の署名が 60 日間で、埼玉県の有権者の 2%(11 万 8 千筆)以上集まった場合



残念ですが、第 1 段階で終わりました。署名のご協力ありがとうございました。

越生町・滑川町・鳩山町・嵐山町などの人口の少ない町は、有権者の 2% は集まりました。さいたま市や川口市、川越市などの都市部は、集まらなかったのです。

埼玉県で県民の直接請求は初めてのことでした。県への条例案の直接請求は、各市町村で多くの人に条例案制定を求める署名活動の情報が広がれば県民の直接請求ができることがわかりました。

★嵐山町でも、かつて「市町村合併の是非を問う住民投票条例案」を直接請求したことがありました。2%以上署名が集まったので、町長は議案として議会に提出。議会は否決しました。

条例制定の直接請求(有権者の 2%の署名が必要)は市町村合併の嵐のあと、議会へ請願ではなく、民主主義の一つの方法として住民が政治に思いを反映するために活用が広がっています。

- ・所沢市では、基地周辺の学校へのエアコン設置についての住民投票条例案の直接請求。
- ・ふじみ野市では、保育園 PTA によって、4 月より廃園するため、2 つの保育所の削除が決まった市立保育所設置条例に、改めて 2 保育所を加える内容の市立保育園設置条例案の直接請求。



子ども医療費の窓口払いは・・・

町長は、新年の賀詞交歓会の挨拶で、子ども医療費の窓口払いは、子育て支援に力をいれるので、近いうちに子ども医療費の、窓口払いはなくなるだろうことにふれました。

若いお母さんたちが「子ども医療費を窓口で払った後に医療費額返金の申請をする方法から現物給付(窓口で払わない)にしてください」という署名を 12 月 2 日に 500 名分ほど町長に提出したということです。

子育て中のお母さんの声が町政に届いてよかったですね。



渋谷とみ子の会 埼玉県比企郡嵐山町平沢254-64 Tel / Fax 0493-62-7997
<http://space.tom-shibuya.com> e-mail 713@tom-shibuya.com